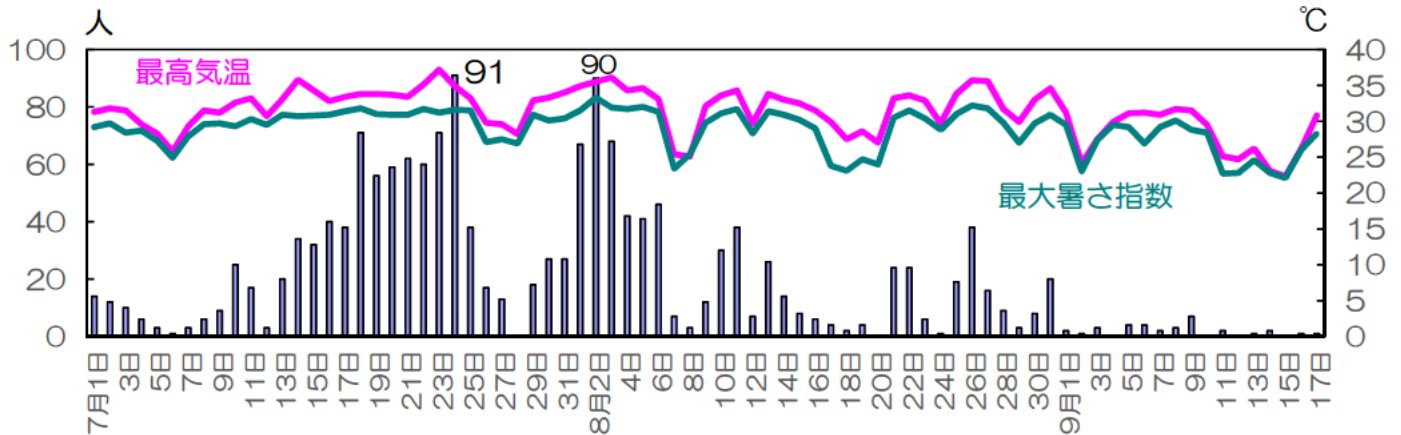


# 熱中症情報

## <搬送数>

平成30年5月1日～9月17日までの搬送数（消防局データを使用）は、計1,706人（5月23人、6月84人、7月883人、8月683人、9月33人）でした。7月中旬以降、各地で観測史上最高を塗り替える記録的な高温となり、7月18日以降は、連日50人以上搬送され、24日は91人でした。7月26日以降は、最高気温も30℃以下で、一端は減少しましたが、8月上旬にまた増加しました。9月は、多少涼しくなり、減少傾向です。

9月も下旬となり、秋の気配を感じていますが、熱中症に関する正しい知識、予防法を再確認し、自分自身はもちろん周囲の人も併せ、無理をせず・させず、体調不良にならないよう健康管理に留意しましょう。



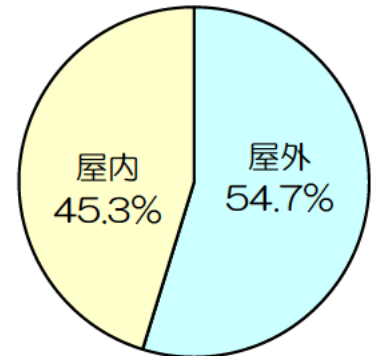
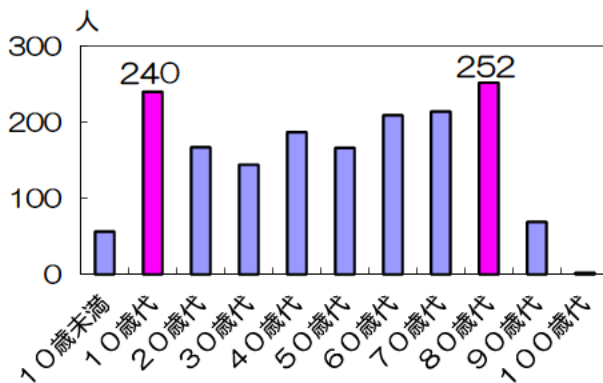
暑さ指数とは？人間の熱バランスに影響の大きい①湿度 ②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境 ③気温の3つを取り入れた温度の指標 詳細は「[環境省熱中症予防情報サイト \(暑さ指数 \(WBGT\) とは?\)](#)」をご覧ください。

## <年齢別>

年齢別では、80歳代が一番多く14.8%、次に10歳代で14.1%でした。

## <発生場所>

屋外54.7%、屋内45.3%で、屋外での発生が多くなっています。



## <重症度>

軽症60.8%、中等症35.6%、重症2.9%、重篤0.7%、死亡0.1%でした。重症以上は62人で、65歳以上が66.1%で、そのうちの63.4%が屋内で発生していました。高齢になると中等症以上が増加し、重症化の傾向が伺えます。

